

盛大に開催された 敬老会

昨年も岩村ふれあいセンターで九月二十七日に敬老会が開催されました。早い時間から集い始めた仲間達は「元気やったかねー、一年ぶりやねー」と満面の笑顔でお互いを迎えあいその場で話に花を咲かせていました。そんな姿を目にした時、そつだ！今日は参加者達が楽しみに待っていてくれた『祝いの日』なのだ。粗相のないようにスタッフ一同気を引き締めた。贅沢

に活けられたバラの花が一段と会場を明るくし、参加者達の心を和ませた。（毎年地元のバラ作りの名人田中さんの行為に甘



次の世代からのメッセージ



お若い皆さん



代表
謝辞

「おじいさん、おばあさん、百まで生きて！直ぐ追いつくよ・・・」の歌に何か言葉に表せないようなほのぼのとした快い余韻をスタッフまでが味あわせて頂いた。きつと我が家の孫に、ひ孫に重ね合わせたのではないだろうかと思いました。後半になっても次々と進められる余興に終始顔が緩みつぱなし、笑う・・・笑う・・・



可愛い 歌声

「笑うことは最も妙薬なり」と聞いていたがこれはうなずけた。しかも長時間の椅子にもかわらず常に姿勢の良いのには驚かされた。ふと「静と動」の文字が浮かび、今は『静』の世界が似合っている・・・そんな上品な年輪の重さも感じられた。閉会の時間が迫っても誰も席を立たない。



楽しい アトラクション



飛び入りの余興にまで見入っている。もう疲れるだろうからという周りから促された閉会の挨拶も躊躇するよ様な場面もありました。「よかつた！来年も頼むぜよ」の声にお世辞でも嬉しい！この会の意義が果たされた事にスタッフ一同世話役冥利に尽きると感謝しております。昨年の敬老会を振り返り反省会を重ねることを実行した入交会長、又長年お世話下さった方々の地道な努力が少なからず反映されたのだと思いました。又来年も元気で参加して欲しいと願わずにはいられません。



ハイ ジャンケン ポン

終わりにご協力下さいました関係者の方々、に委員一同心からお礼を申し上げます。大町秀子さん寄稿

ほぼ岩村全域に氏子が広がる神奈地祇神社は、祭神は加奈良知姫であると言われる。古く石村（岩村）の南に位置する物部卿に居住していたとされる物部氏の祖先忍男命の妻・加奈良知姫を、神奈地祇神として祀ったものとされる。古くから三所大將軍とも言われ崇敬されてきた。江戸時代までは、八反の社領もあつた。

次面へ続く

岩村の歴史

神奈地祇神社
神社について

”もちっと辛抱”

ご新造さんの長わづらいも快方に向かい往診の先生に「先生、食事の方は、固いものもようございますか」と番頭が聞くと、「はい何を食べても結構」「では旬の松茸などは」松茸はけっこうだが・・・松茸のようなものは、もちっと辛抱されるがよからう」
” 壽 限 無 ”